

橋本市のTNR実施数

年度	実施数
平成30年度	111匹
令和元年度	148匹
令和2年度	113匹
令和3年度 (12月末現在)	119匹

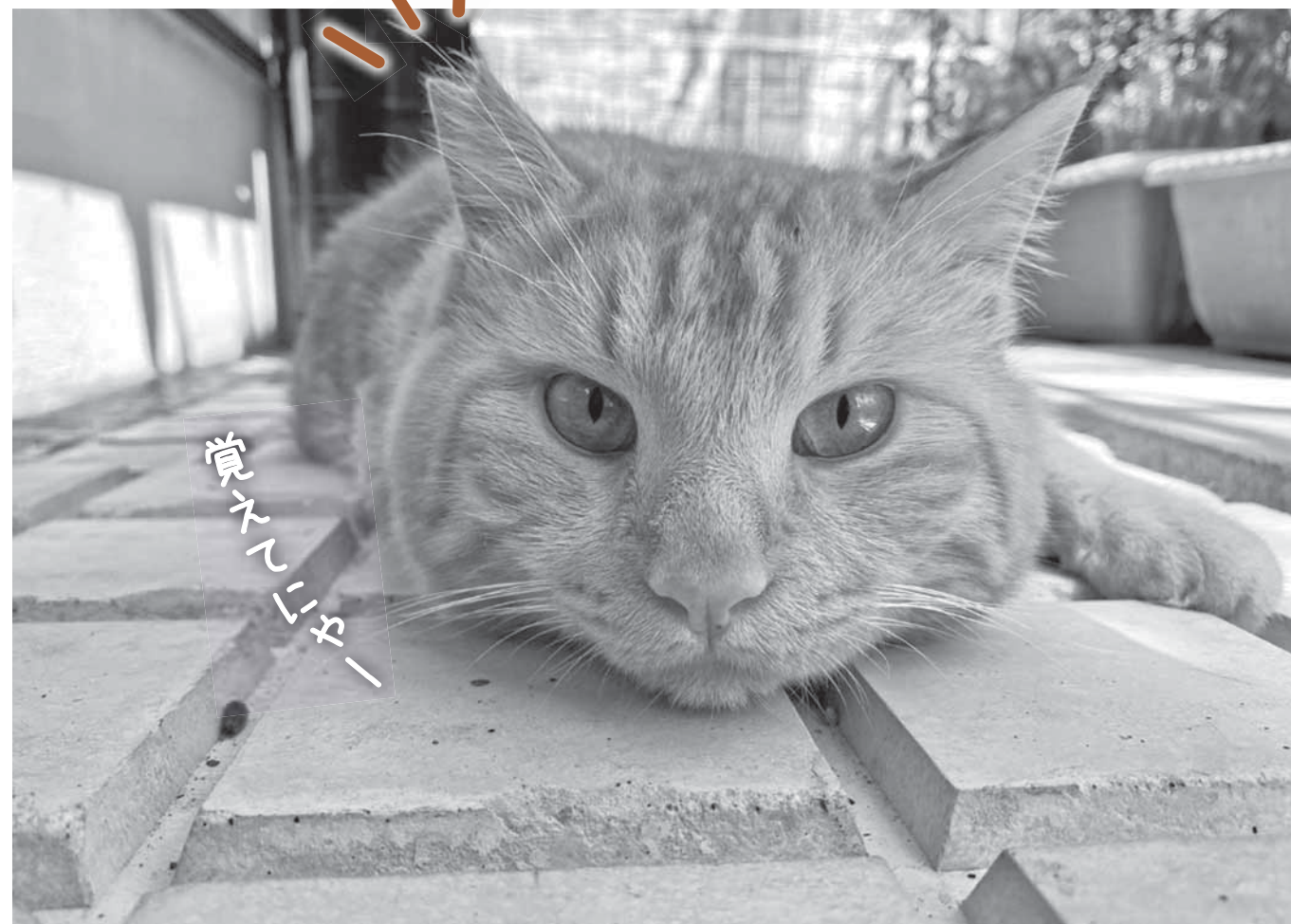
※令和2年度～令和3年度初旬は、新型コロナウイルス感染症対策により実施数が減少しています。

野良猫から地域猫に

県の対策に加え、市では、平成29年7月からボランティア団体「はしもとさくら猫の会 和歌にゃんず」の協働事業として、「さくらねこ無料不妊手術事業（公益財団法人どうぶつ基金）」の先行型TNR活動を実施しています。詳しくは市ホームページ（下の二次元コード）をご覧ください。

先行型のTNR活動により、橋本市の野良猫は着実に地域猫となっています。

また、地域猫となった後は、決められた時間に餌やりをし、猫用のトイレの設置、ふんの後片付けなど、地域猫を適正に管理していただくよう、餌やりボランティアにお願いしています。



1 Trap(トラップ) 捕獲して

2 Neuter(ニューター) 不妊手術を行い

3 Return(リターン) 元の場所に戻す

TNR活動って？

「公益財団法人どうぶつ基金」が平成17年から動物愛護事業として行なっている取組みで、野良猫を捕獲器で捕まえ、これ以上不幸な猫が増えないように不妊手術を行い、その猫が暮らしていた場所に戻します。



猫と共に暮らす

飼育猫の寿命が、10年から15年に対し、野良猫の寿命は、3年から5年といわれています。これは、猫が自然環境下で生きることの過酷さを物語っています。

猫が好きな人も嫌いな人も、それぞれの考え方があの中、人と猫が共生して穏やかに暮らせるよう地域猫活動が生まれました。

不妊去勢手術を終えた地域猫が、わずか3年から5年の短い命を全うして暮らせるよう、地域の皆さんの温かい見守りをお願いします。

無責任な飼い主が猫を捨てることで野良猫となります。また、猫を遺棄することは犯罪ですので、絶対にしないでください。

地域猫を知っていますか？

猫との触れ合いや、SNSなどの猫に関する動画は、多くの人の心の癒しとなっています。しかし一方では、野良猫の増加により、ふん尿や鳴き声などに対する苦情、餌やりに関する近所同士のトラブルなどが増えています。

この特集では、野良猫に対して、市が市民やボランティア団体と協働で取り組んでいる地域猫活動について紹介します。

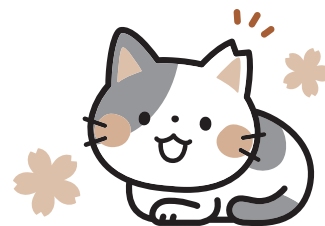
【生活環境課】

地域猫活動とは

地域猫活動は、さまざまな理由で野良猫となった猫に不妊去勢手術をして、元の場所に戻し、一代限りの猫の命を全うさせる活動のことです。

地域の人や餌やりボランティアが、決められた時間に決められた場所で餌を与え、ふん尿の後始末や掃除をするなど、生活環境の悪化を防止しながら、その数と被害を減らしていく方法として考案されました。

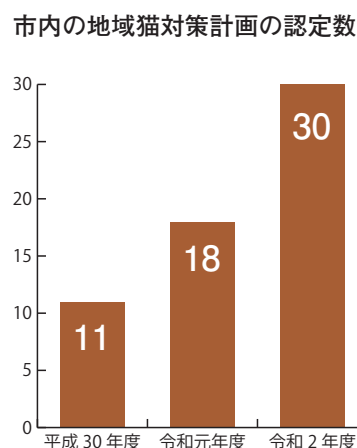
地域猫は、不妊去勢手術の麻酔後に耳をV字カットし、耳の形が桜の花びらのように見えることから「さくらねこ」と呼ばれています。



野良猫問題とその対策

野良猫のふん尿の臭いや発情期の鳴き声の苦情、無秩序な餌やりによる近所とのトラブル・相談が、市や保健所に多数寄せられています。

これを受け、和歌山県では、平成29年4月から地域猫対策を推進しています。野良猫への対策をしようとする人が「地域猫対策計画」を作成し、県に申請することで、餌やりや不妊去勢手術、排せつ物処理などが適正であれば認定を受けることができます。市内の認定数は次のとおり年々増加傾向にあります。



ねこのタウンミーティングを開催します

- TNR活動に興味があるけど、やり方が分からない
 - 地域猫となった猫への餌のやり方やトイレの設置方法などを知りたい
 - 地域猫にまつわる地域住民間でのトラブルを未然に防ぎたい
- など、地域猫に興味がある人を対象に「はしもとさくら猫の会 和歌にゃんず」と協働でタウンミーティングを開催します。ぜひご参加ください。
- 日程 2月20日(日)
 - 時間 午後1時30分～午後4時
 - 場所 高野口地区公民館
 - 定員 先着30人
 - 申込期限 2月18日(金)
 - 申し込み・問い合わせ 生活環境課 ☎33-6100

